

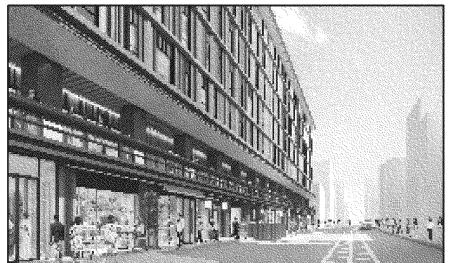
## ○地域経済を支え、牽引する中小企業の下支えや成長支援

### 1 「京都経済センター」（仮称）の整備：－【産業政策課】

#### (1) 事業概要

京都の経済団体等と共に中小企業支援機能を一同に集積させることで、オール京都の総合力を発揮する京都経済センター（仮称）の整備を進めます。

また、様々な恵みが融合し、新たな価値を生み出す「交流と融合」の拠点として、京都の産業全体を俯瞰した施策やにぎわいの創出を図るべく検討を進めます。



京都経済センター（仮称）竣工パース

＜参考＞京都経済センター（仮称）の概要

#### ○建設予定地

京都産業会館及び元市営四条烏丸駐車場敷地

#### ○規模

地上7階地下2階建て

#### ○主な機能

交流と協働の促進

戦略的産業振興施策の推進と情報発信

中小企業の育成支援

産学公連携の推進

スマートシティ・スマートコミュニティの実現

海外への販路開拓と海外からの投資促進

織維産業の振興

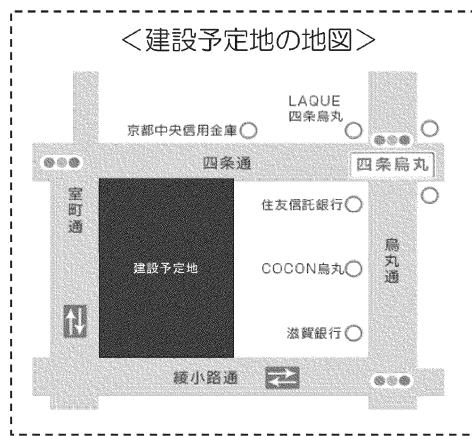
産業人材育成支援

#### ○スケジュール（予定）

平成29年度 建設工事

平成30年度 竣工

平成31年度 オープン



#### (2) 実施内容

➤ 京都経済センター（仮称）新築工事中

### 2 首都圏を中心とした京都情報の発信強化事業：8,800千円【産業政策課】

#### (1) 事業概要

首都圏における京都の総合情報発信拠点である「京都館」の移転を契機に機能の見直しを行い、さらなる情報発信力の強化を図ります。



現在の京都館

＜参考＞京都館の概要

・所 在 地 東京都中央区八重洲2丁目1番1号  
ヤンマー東京ビル1階

・開館時間 10:30~19:00

・休 館 日 3・9月の最終水曜日、年末年始（12/30~1/3）

・機 能 情報・販売・体験コーナー、伝統工芸ギャラリー

#### (2) 実施内容

①新京都館の魅力発信強化に向けたモデル事業の実施

➤ 例：京都の魅力発信の担い手や京都ファンが集う「京都サロン」の実施

②新京都館に向けた実行可能性調査

➤ 民間事業者と連携した具体的な新京都館の事業内容の検討

### 3 中小企業金融支援事業：401億1,638万円【中小企業振興課】

#### (1) 事業概要

京都府との協調による融資制度の更なる推進を図り、市内中小企業者に事業資金を円滑に供給します。  
(URL : <http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000119631.html>)

#### (2) 実施内容

##### 主な金融支援制度

###### ➤ 経営あんしん（セーフティネット）融資

- ・「小規模企業おうえん資金」…小規模企業の方

ベース枠 (無担保無保証人)	<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：1.2%</li><li>・融資限度額：1,250万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置6箇月以内）</li></ul>
ステップアップ枠 (無担保)	<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：1.7%</li><li>・融資限度額：1,250万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置6箇月以内）</li></ul>

- ・「あんしん借換資金」…売上減少している方、借換希望の方

緊急枠 (売上減少、原材料費高騰等)	<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：1.8%</li><li>・融資限度額：有担保2億円、無担保8,000万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置2年以内）</li></ul>
セーフティネット枠 (不況業種指定等、セーフティネット保証適用)	<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：新規1.2% 借換1.8%</li><li>・融資限度額：有担保2億円、無担保8,000万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置2年以内）</li></ul>

###### ➤ 産業活力推進（政策支援）融資

- ・「開業・経営承継支援資金」…開業・経営承継を行う方

<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：1.2%</li><li>・融資限度額：開業1,000～1,500万円（条件あり） 　　経営承継：有担保2億円、無担保8,000万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置2年以内）</li></ul>
--

- ・「京都市関連認定制度資金（京都市独自制度）」…新事業創出等に取り組む方

①Aランク認定企業 ②オスカー認定企業 ③知恵創出“目の輝き” 企業認定事業者 ④これから約1000年 を紡ぐ企業認定事業者 ⑤伝統産業設備改修等補 助金交付決定者 ⑥京都市スタートアップ 支援ファンドの投資企業	<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：1.2%</li><li>・融資限度額：2億円（うち運転資金8,000万円）</li><li>・融資期間：10年以内（据置1年以内）</li></ul>
---	--

- ・「京都市企業立地促進資金（京都市独自制度）」…本社・工場・開発拠点又は研究所を新增設する方

<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：所定金利（固定）</li><li>・融資限度額：5億円</li><li>・融資期間：15年以内（据置1年以内）</li></ul>
---

###### ➤ 中小企業支援（事業成長・持続支援）融資

- ・「一般資金」…一般的な事業資金を希望する方

<ul style="list-style-type: none"><li>・融資利率：所定金利（固定）</li><li>・融資限度額：有担保2億円、無担保8,000万円</li><li>・融資期間：10年以内（据置1年以内）</li></ul>
---

※利率は平成29年4月1日現在

#### 4 中小企業等チャレンジ支援事業：8,000千円【中小企業振興課】

##### (1) 事業概要

中小企業等で構成する業界団体が、専門家の助言を得ながら、自らの強み・弱みを分析し、課題の解決やイノベーションの創出など業界全体の活性化を図る取組に対し、「中小企業等チャレンジ支援事業」による支援を行います。

##### (2) 実施内容

###### ①課題解決手法調査及びビジネスモデル試行実施事業：7,000千円

- 小中企業診断士や経営コンサルタント等の様々な専門家の協力の下、業界団体が抱える課題を抽出するとともに、課題解決に向けた手法等について調査を実施
- 課題解決手法に基づき、業界団体が主体的な取組を試行実施する場合に対する助成支援(補助率2/3)

###### ②成果事例発表会の開催：1,000千円

- 事例の発表等、幅広く情報を発信

#### 5 中小企業経営支援体制の強化：72,000千円【中小企業振興課】

##### (1) 事業概要

平成24年4月に、本市の経営相談窓口を、京都商工会議所、京北商工会の相談窓口に一元化し、新たに10名の経営支援員を配置するなど、よりきめ細かい支援体制を確立しました。

これにより中小企業支援体制の強化を図り、京都市内5箇所（京都商工会議所中小企業経営支援センターの洛央、洛北、洛南、洛西の4支部及び京北商工会）のより身近な相談窓口において、市、府、商工会議所の多様な経営・金融支援にワンストップでアクセスできるなど、中小企業支援を引き続き強力に進めています。

##### (2) 実施内容

- 京都商工会議所及び京北商工会における経営支援員による経営相談の実施

＜参考：平成28年度実績＞

経営相談件数 3,802件

#### 6 中小企業未来力創出支援事業：9,000千円【中小企業振興課】

##### (1) 事業概要

「京都市中小企業未来力会議」において、異業種等連携から生まれたビジネスプランについて試行実施を支援することで、中小企業が持つ未来を切り拓く力を最大限引き出し、新たなビジネスモデルの創出を図ります。



##### (2) 実施内容

- 異業種等連携により生まれたビジネスプランの試行実施を支援  
(補助率2/3)

第1回京都市中小企業未来力会議

#### 7 中小企業事業承継支援体制の強化：7,200千円【中小企業振興課】

##### (1) 事業概要

事業承継に係る潜在的な相談ニーズを掘り起こし、小規模事業者の円滑な事業承継を図るため、京都商工会議所「事業引継ぎ支援センター」における支援体制を強化します。

＜参考＞事業引継ぎ支援センターの概要

後継者問題に悩みを抱える中小企業の相談窓口として、国が47都道府県に設置

##### (2) 実施内容

- 経営支援員（1名）の増員：7,200千円

## 8 未来創造型企業支援プロジェクト：15,800千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

企業の事業プランを評価・認定する「ベンチャー企業目利き委員会」を核として、将来性の高いベンチャー企業の発掘から育成まで一貫したきめ細やかなサポートを行い、企業の更なる発展を加速させます。

(URL：<https://www.venture-mekiki.jp/>)

### (2) 実施内容

①京都市ベンチャー企業目利き委員会の運営等

➢ 京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業：126社（平成28年度末時点）

②専任コーディネータによる企業の発掘、支援

## 9 中小企業パワーアッププロジェクト：27,111千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

経営革新により持続的な成長が期待される企業への「オスカー認定制度」を核に、将来性の高い中小企業の発掘から育成まで一貫したきめ細やかなサポートを行い、更なる発展を加速させます。

(URL：<http://www.astem.or.jp/business/support/oscar>)

### (2) 実施内容

①「オスカー認定審査委員会」の運営

➢ オスカー認定企業：171社（平成28年度末時点）

②専任コーディネータによる企業の発掘、支援

## 10 中小企業海外展開支援事業：13,700千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

豊富な海外展開支援策と海外ネットワーク（55箇国に74事務所）を持つ独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）や京都の支援機関と連携し、京都企業の海外展開や新たな海外需要の取り込みを後押しするため、よりきめ細かい充実した支援が実施できるよう、貿易振興機関の運営費の一部を負担するとともに、海外展開支援コーディネーターを公益財団法人京都高度技術研究所に配置し、「海外展開を目指す中小企業の事業熟度に応じた経営相談」や「ジェトロを含む支援機関の施策活用のコンサルティング」を行うことで総合的な支援を実施します。

### (2) 実施内容

①貿易振興機関に対する負担金等：7,700千円

➢ ジェトロ運営に係る助成等

②海外展開支援コーディネーターの配置：6,000千円

➢ 経営相談等の総合的な支援等

## 11 京都型グローバル・ニッチ・トップ企業創出支援事業：13,861千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定や、オスカー認定、知恵創出“目の輝き”認定など、様々な認定制度を通じて発掘してきた有望なベンチャー・中小企業に対して、京都高度技術研究所や産業技術研究所が中心となって設立する支援協議会が、企業の海外展開に係る課題を分析して適切な支援策を検討・展開し、専任のコーディネーターが海外市場で求められる製品開発を支援することにより、次代の京都経済を担う新たなグローバル・ニッチ・トップ企業への成長を図ります。

### (2) 実施内容

専任コーディネータによる海外市場で求められる製品開発支援、支援協議会の開催

➢ 支援企業数：16社（平成28年度末時点）

## 12 京都市未来創生企業成長プロジェクト：16,900千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

ベンチャー企業の創業期支援及び京都市ベンチャー企業目利き委員会Aランク認定企業、オスカーリング認定企業、知恵創出“目の輝き”認定などの各認定制度を通じて発掘された、独自の高い技術力や経営革新に取り組む中小ベンチャー企業を対象に、研究開発支援や、販路開拓支援等を展開し、地域経済や雇用創出に貢献する中堅企業への成長を支援します。

### (2) 実施内容

- ①中小・ベンチャー企業競争力強化支援
- ②企業ブランド力強化支援
- ③専門家派遣等
- ④首都圏・中京圏販路開拓支援

## 13 京都市成長産業創造センター運営：53,000千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

大学の最先端の研究成果を着実に事業化につなげる研究プロジェクトを推進して、「グリーン・イノベーション」(環境・エネルギー分野における技術革新)と「ライフ・イノベーション」(医工薬分野における技術革新)を実現し、付加価値の高い高機能性化学品を生み出すことにより、京都市域における産業競争力の確保と新規事業の創出を図ります。更に、研究プロジェクトの成果を地元の中小企業等に橋渡しとともに、産学公の交流の場を提供することにより、幅広い情報交流の促進と、新たな連携創出に取り組みます。

### (2) 実施内容

- 京都市成長産業創造センターの管理・運営：53,000千円

## 14 中小企業成長・下支えリーディング事業：1,122,553千円（地方独立行政法人京都市産業技術研究所への運営費交付金等の額） 【地方独立行政法人京都市産業技術研究所】

### (1) 事業概要

中小企業の成長支援として、バイオライフサイエンスやグリーンイノベーション、京都の伝統文化を基軸にした新成長分野への市内中小企業の進出を支援するため、京都市産業技術研究所の得意技術を活用した研究開発を行います。また下支えの強化として、製品等の製造や研究開発の過程で発生する分析技術の高度化、不良対策、品質向上、生産効率の向上などの課題解決を図り、新製品の開発や商品化等を後押しします。

### (2) 実施内容

#### ①研究開発

- 複雑化、多様化する中小企業等のニーズに応えるために、基礎研究から市場化を見据えた研究までを体系的に行う。
  - カルティヴェイション研究  
若手研究員の自由な発想に基づく研究事業で、基礎研究から応用研究までを対象とした研究開発を行う。
  - パイロット研究  
技術の完成や事業化・製品化が間近いテーマに対して重点的に研究開発に取り組む。
- また、競争的資金等の外部資金を積極的に活用し、京都の中小企業等の将来の発展を常に意識し、成長が予想されるものの、個別の企業等では取り組むことが困難な技術や実用化に向けた基盤的な技術等の研究開発に取り組む。

#### ②試験・分析

- 中小企業等からの依頼に基づく試験・分析等に正確かつ迅速に対応する。また、これらの結果等を踏まえた対策を具体的に提案・指導し、その解決を図る。

### ③技術相談

- 京都市産業技術研究所が培ってきた成果や研究職員の専門的知識等を活用して中小企業等の課題に応じて具体的に指導するとともに、生産現場での技術相談を実施するなど、きめ細やかな技術支援により、中小企業等が抱える技術課題の解決を図る。

### ④知恵産業融合センター推進事業

- 京都市産業技術研究所の技術力をベースにした企業への技術支援や企業マッチング等に取り組み、伝統技術と先端技術の融合や新たな「気づき」による新技術・新商品の開発等を行った企業を「知恵創出“目の輝き”」企業として認定するなど、知恵産業を技術面から推進する。

（「知恵創出“目の輝き”」認定：平成25年度からスタート。認定企業16社（平成28年度末時点）

### ⑤人材育成

- 中小企業等の技術者に対し、研究開発で得られた新しい知見をはじめ、ものづくりを支える基盤技術、伝統産業や成長分野で求められる高度かつ専門的な技術・知識に関する研修を行うとともに、京都のものづくり文化を継承し、発展させる視点を持った後継者を育成することにより、業界の発展を図る。

### ⑥京都ものづくり協力会への支援

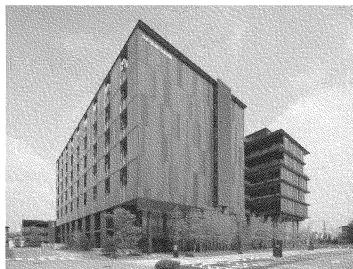
- 京都ものづくり協力会（伝統産業から先端産業まで幅広い地元企業（10研究会に所属する約810社）等で構成する団体）の事務局を担い、商品開発技術の研鑽や異業種交流を支援するとともに、研究会試作事業をはじめ、新技術・新製品開発を支援する。

### ⑦機器整備事業

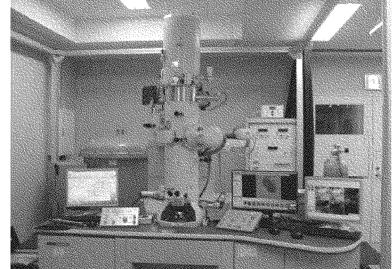
- 多様化、高度化する中小企業等のニーズに的確に対応し、質の高いサービスを提供するため、中長期的視点に基づき、中小企業等のニーズが高いものや研究開発に不可欠な機器を整備・更新する。

＜参考：平成28年度実績＞

試験・分析	9,298件
技術相談	13,389件
設備利用	351件



京都市産業技術研究所



電界放出形透過型電子顕微鏡  
※平成28年度公益財団法人  
JKA補助事業物件

## 15 海外とのビジネス交流を促進する地域間交流支援事業：1,000千円【新産業振興室】

### (1) 事業概要

京都市、京都府、JETRO等が連携し、ライフサイエンス分野において最先端の技術が集積するアメリカ（マサチューセッツ州・ボストン市）とのビジネスマッチングなどの交流を促進することで、製品の共同開発や京都企業の輸出拡大につなげます。

### (2) 実施内容

#### ①国内研究会の開催

- ライフサイエンス分野におけるビジネス交流の実現に向けた国内研究会を開催する。

#### ②海外企業等の招へい

- 海外交流先から、ライフサイエンス分野に係る業界団体等を招へいし、京都企業とのビジネス交流等を実施する。